

最先端歯科医療を学び、 実力ある歯科衛生士を養成します。

福山市歯科医師会の附属校であり、市内で開業されている歯科医師(会員)による現場に即した内容の講義・実習を受けることができ、卒業後も即戦力として、確かな技術と豊富な知識で、患者さん一人ひとりの気持ちに応える歯科医療のスペシャリストを育てるため、本校では、教育方針に基づき、優れた人格・見識をもった有能な歯科衛生士を養成しています。豊富な講師陣による3年間の教育により、歯科衛生士としての専門知識はもとより、社会人としての幅広い教養と豊かな人格の形成を図ることを目指しています。

楽しい
学生生活!

豊富な実習を
学べる!

就職希望者
100%内定!



校長からのメッセージ

本校は昭和47年に福山市歯科医師会によって設立された、広島県東部唯一の歯科衛生士養成機関です。創立以降2,453名の卒業生が、県内はもとより全国各地で歯科衛生士として活躍しています。健康寿命の延伸のために、歯と口の健康はますます重要視されています。一生続けられる素晴らしい仕事、歯科衛生士国家資格に是非挑戦してください。 校長 横山晴洋

教育方針

いかなる立場にあっても、
職務を全うできる歯科衛生士の養成。

- 歯科診療の場で、診療補助業務が十分できる能力。
- 口腔衛生実技に熟達し、その技量を十分に発揮し責任を全うできる能力。
- 臨床の場で、患者に対し歯科保健指導が十分にできる能力。
- 公衆歯科衛生の場において、現場活動が十分にできる能力。
- 常に医療人としての論理に基づいた行動ができる能力。

沿革

- 昭和46年10月 社団法人福山市歯科医師会より福山歯科衛生士学院を設立
- 昭和47年 2月 厚生大臣より指定を受け、各種学校県知事認可を受ける
- 昭和47年 4月 福山歯科衛生士学院(1年制)として福山市御門町に開校
- 昭和55年 4月 福山市南蔵王町(現住所)へ移転
- 昭和56年 4月 福山歯科衛生士専門学校(2年制)として専修学校に昇格
- 平成18年 4月 専門学校福山歯科衛生士学校に改称
修業年数を3年制に変更
- 令和元年 9月 高等教育の修学支援新制度の対象校に認定

ますます重要になってくる歯科衛生士の仕事

歯科予防処置

「フッ化物塗布」等の薬物塗布や深い溝に充填をして虫歯を予防したり、歯垢や歯石を除去する「機械的歯面清掃」などの歯科予防処置を行います。



歯科保健指導

保健所や小学校で歯磨き指導をしたり、福祉施設を訪問して口腔ケアを行うなど患者さんの歯の健康全般を考えます。幼児から高齢者までの各ライフステージにおいて、適切な健康づくりを行うため、歯磨き指導やセルフケアのスキルアップを専門的に支援する大切な仕事です。口腔の健康を保つことが健康で質の高い生活を営むうえで重要です。



歯科診療補助

診療が安全に行われるように、歯科医師が円滑に治療するための介助をしたり、直接患者さんに接して診療をサポートします。歯科診療を円滑に行うため歯科医師の診療を補助します。また歯科医師と患者さんとのコミュニケーションや信頼関係を構築するためにサポートする役割もあります。

